

【港 湾 部 門】

事業名 新潟港国際海上コンテナターミナル整備事業
 授賞機関 国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所
 国土交通省北陸地方整備局新潟港湾空港技術調査事務所
 新潟県新潟地域振興局新潟港湾事務所
 実施期間 平成22年2月～平成24年6月



東港CT全景



岸壁鋼矢板等打ち込み状況

〔事業概要と評価〕

新潟港では、岸壁数の不足により滞船が発生していた。「凍結サンプリング」による液状化試験を実施しコスト低減と工期短縮が可能となる構造とし、工期短縮のため、鋼管打ち込みにウォータージェット併用パイロハンマ工法等を採用した。これにより14ヶ月で部分共用し、27ヶ月で全面共用することが出来た。コンテナ船の滞船が半減し、地域産業の国際協力強化に大きく寄与したと評価された。

賛助会員：五洋建設(株)北陸支店、東洋建設(株)北陸支店、(株)本間組

事業名 名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル（T3）整備事業
 授賞機関 国土交通省中部地方整備局名古屋港湾事務所
 実施期間 平成21年7月～平成24年3月



鍋田ふ頭は、名古屋港の西部地区に位置し、中国など近海航路向けのコンテナ貨物を取り扱う



PCホロー桁は陸上から架設
 受梁は海上から架設

受梁とPCホロー桁を同時施工することによって工程を短縮

〔事業概要と評価〕

コンテナ船の滞船発生し、早急な改善が求められていた。早期供用を図るため、現地で「衝撃載荷試験」を実施し支持層の合理的評価による栈橋杭長の短縮、栈橋床版にPCホロー桁を採用しプレキャスト化等を実施したことにより、2年8ヶ月で整備を完了させた。これにより国際競争力の維持・確保に大きく貢献したと評価された。

賛助会員：株木建設(株)、五洋建設(株)、東洋建設(株)